

JRAT 活動報告書

平成 28 年 2 月 22 日

都道府県	長崎県	報告者 連絡先	Nagasaki-JRAT 事務局 井手伸二 tel 095-818-2002 mail ide-s@zeshinkai.or.jp	
団体名称/ 参加団体	Nagasaki-JRAT (ナガサキリハビリテーションネットワーク、長崎県理学療法士協会、長崎県作業療法士会、 長崎県言語聴覚士会、長崎県医師会)			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の 動き	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 27 年 11 月 28 日	実施場所	長崎大学水産学部会議室	
概要	<p>長崎県は地域リハビリテーション支援体制を軸として種々の活動を展開するようにしている。このためナガサキリハビリテーションネットワーク(県リハビリテーション支援センター)、長崎県理学療法士協会、長崎県作業療法士会、長崎県言語聴覚士会、長崎県医師会で共催する「平成 27 年度地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職認定研修事業(県補助事業)」(2 日間×2 回の研修会)の一環として、災害リハビリテーションに関する講義を実施した。同事業は地域リハに資する中堅層のリハ専門職の育成を目的としており、災害リハに対する理解を深める目的で実施したものの。</p> <p>カリキュラムは下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRAT の概要を知る ・Nagasaki-JRAT の概要を知る ・災害フェーズとリハ支援についてテキストを用いて説明できるようにする <p>Nagasaki-JRAT 災害リハコーディネーター(淡野・草場・永石)により講義を行った。</p>			
所感	<p>今回の研修において災害リハに対する考え方等の認識はまだ不十分な印象を受けている。</p>			
今後の課題	<p>カリキュラムの中にある災害リハの意味づけをしっかりと理解してもらうためにも、より実際場面を想定した演習を通して認識を深める必要を感じている。</p>			
今後の活動予定	<p>今回の事業は 3 年間の継続事業であることから、その中に災害リハに関する啓発を図っていくと共に、ナガサキリハビリテーションネットワークと連携した上で、協力病院との実際的な連携に向けた取り組みも実施していきたい。</p>			
事務局への要望等	<p>特になし。</p>			